

文学サブプログラム

専門基礎科目(文学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OAA3019	文学研究	1	1.0	1・2	秋AB	火1	小川 美登里, 秋山学, 加藤 百合, 稀代 麻也子, 齋藤 一, 馬場 美佳, 吉森 佳奈子, 茂野 智大, 三原 鉄也, 五月女 颯	各担当教員が専門とする文学研究について、基礎的かつ最新のテーマ等に基づき講義する(年度ごとに担当教員が交代しますのでシラバスの「授業計画」を参照してください)。	オンライン(オンデマンド型)

専門科目(文学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAE01	文学批評研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	金6	五月女 颯	文学批評・文学研究のために必要な理論や方法を学ぶ。本科目(前期)では、エコクリティシズムのなかでも「エコゴシック」に関連する文献を購読する。	西暦偶数年度開講。 02DSA01と同一。 対面
OABAE02	文学批評研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	金6	五月女 颯	文学研究・批評に必要な理論や方法を学ぶ。特にエコクリティシズムやポストコロニアリズムの理論を中心に、受講者による自身の研究対象についての発表と議論を行う。	西暦偶数年度開講。 02DSA02と同一。 対面
OABAE03	文学批評研究(2A)	2	1.0	1・2				文学批評・文学研究のために必要な理論や方法を学ぶ。本科目(前期)では、エコクリティシズムとポストコロニアリズムに着目し、Hugan & Tiffin. Postcolonial Ecocriticism (Routledge, 2015) を本線に、受講者の関心に沿った文献の購読を行う。	西暦奇数年度開講。 02DSA03と同一。 対面
OABAE04	文学批評研究(2B)	2	1.0	1・2				文学研究・批評に必要な理論や方法を学ぶ。本科目(後期)では、前期で参照したエコクリティシズムやポストコロニアリズムの理論をもとにして、受講者による自身の研究対象についての発表と議論を行う。	西暦奇数年度開講。 02DSA04と同一。 対面
OABAE05	文学研究発表演習A	2	1.0	1	春AB	木5	齋藤 一, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 三原 鉄也, 五月女 颯	受講者全員が研究発表を行い、教員も参加してディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における論文執筆や学会発表の方法の基礎を実践的に学ぶ。発表者は、必ずしも完成された研究内容でない萌芽的な研究であっても、問題意識を鮮明にし、先行研究を概観しつつ当該研究の位置づけを示し、的確に対象テキストの分析をおこなったうえで有意義な考察を展開するよう努め、その成果を学術的な形式ののりによって発信する機会とする。他の受講者は、これらの側面を吟味し、研究の質の向上のための改善策を検討し、建設的な発言能力を磨く。	02DSA05と同一。 実務経験教員 対面 教室は人社A101
OABAE06	文学研究発表演習B	2	1.0	1	秋AB	木5	齋藤 一, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 三原 鉄也, 五月女 颯	受講者全員がより高度な学術的水準をめざして研究発表を行い、教員も参加してディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における学術論文執筆や学会発表の洗練方法を実践的に学ぶ。発表者は学位論文に結実することを念頭にいた研究発表をおこない、問題意識を深化させ、先行研究を批判的に概観しつつ当該研究の独自性を示し、的確かつ説得力ある対象テキスト分析をおこなったうえで学界に寄与する考察を展開するよう努め、その成果を完成度の高い学術的形式ののりによって発信する機会とする。他の受講者は、これらの側面を吟味し、研究の質の向上のための有効な改善策を検討し、建設的な発言能力を一層磨いて、学術交流のための資質を高める。	02DSA06と同一。 実務経験教員 対面 教室は人社棟A101
OABAE07	文学理論研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	月3	齋藤 一	最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最近の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エーリッヒ・アウエルバッハ『ミメーシス』を、主に日本語訳を利用しながら講読することで、ヨーロッパ文学における現実表象について学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02DSA07と同一。 対面
OABAE08	文学理論研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	月3	齋藤 一	最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最近の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エドワード・サイード『オリエンタリズム』の英語原典(部分)を、日本語訳を参考にしながら講読することで、脱構築、ポストコロニアル批評の根本的発想を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02DSA08と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OABAE09	文学理論研究(2A)	2	1.0	1・2				最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最新の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エーリッヒ・アウエルバッハ『ミメシス』(日本語訳上・下巻)などを、主に日本語訳を利用しながら講読することで、文学における「リアル」とは何かということについて学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02DSA09と同一。 対面
OABAE11	文学理論研究(2B)	2	1.0	1・2				最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最新の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、フレドリック・ジェイムソン『政治的無意識』の日本語訳などを、英語原典を参考にしながら講読することで、構造主義詩学とマルクス主義批評の根本的発想を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02DSA11と同一。 対面
OABAE12	文学交流論演習(1A)	2	1.0	1・2	春AB	火3	吉原 ゆかり	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品を精読する。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法、研究資料調査方法を習得する。植民地出身者が宗主国語で書いた作品や、テキストで用いられる言語を第一言語としない人により書かれた作品、高級文化とポピュラー・カルチャーを交錯させる作品など、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品を取り上げる。	使用言語は、日本語及び英語。 西暦偶数年度開講。 02DSA12と同一。 対面
OABAE13	文学交流論演習(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	火3	吉原 ゆかり	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流についての理解を深めるために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキストの精読を行う。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法、研究資料調査方法、研究倫理を習得する。ジェンダー論、ポストコロニアル理論をとくに重視する。LGBTQ、女性、人種的マイノリティなど、社会的弱者によって/ついで書かれたテキスト作品を重視する。	使用言語は、日本語及び英語。 西暦偶数年度開講。 02DSA13と同一。 対面
OABAE14	文学交流論演習(2A)	2	1.0	1・2				広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品に関する、研究論文(日本語・英語)の読解演習を行う。学術論文を読解し、論理構成を理解し、自分の研究に応用するための基礎力を養成する。研究論文読解の前提となる、対象テキスト作品の精読を合わせて行う。ジェンダー、階級、マイノリティ表象に注目した、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品について書かれた学術論文を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 02DSA14と同一。 対面
OABAE15	文学交流論演習(2B)	2	1.0	1・2				広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相に関する理解を深めるために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品に関する、学術・研究論文(日本語・英語)の読解演習を行う。学術論文を読解し、論理構成を理解し、自分の研究に応用するための応用力を養成する。研究論文読解の前提となる、対象テキスト作品の精読スキル育成を行う。ジェンダー、階級、マイノリティ表象、文化序列に注目した、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品について書かれた学術論文を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 02DSA15と同一。 対面
OABAE16	比較文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	木3	加藤 百合	比較文学のひとつの方法論として翻訳研究を行う。明治時代の言説(文学論・評論・文芸)を当時の文脈で検証する力をつけることを目標として同時代資料と併せて読み込む訓練を行う。基礎知識となる著作の講読を担当を決めて行う。	西暦偶数年度開講。 02DSA16と同一。
OABAE17	比較文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木3	加藤 百合	明治時代の一次資料を丁寧に読む。近代文学を歴史的に位置づけながら追究する。まずは二次資料による現在の解釈を離れて、文献を初出の形で読むことによる研究方法を学ぶ。受講者の知識の領域や興味の範囲を勘案してより具体的な計画をたてる。自らが研究している領域のなかから翻訳・翻案に関わるテーマを見出して発表を準備したうえで、履修者で討論・検討を行う。	西暦偶数年度開講。 02DSA17と同一。 発表、個別指導などを対面で実施。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAE18	比較文学研究(2A)	2	1.0	1・2				比較文学のひとつの基本的研究としてジャンル研究を行う。明治時代の言説(文学論・評論・文芸)を当時の文脈で検証する力をつけることを目標として同時代資料と併せて読み込む訓練を行う。基礎知識となる著作の講読を担当を決めて行う。	西暦奇数年度開講。 02DSA18と同一。 対面
OABAE19	比較文学研究(2B)	2	1.0	1・2				明治時代の一次資料を丁寧に読む。近代文学を歴史的に位置づけながら追究する。近代文学を歴史的に、当時のままの形(初出形態かそれを代替するもの)で丁寧に読み、時代状況のなかに位置づける訓練をする。必要な資料と適切なテキストを準備しそれを読む。基本的に演習形式で行なう。自らが研究している領域のなかから外国文学受容とジャンルに関わるテーマを見出して発表を準備したうえで、履修者で討論・検討を行う。	西暦奇数年度開講。 02DSA19と同一。 対面
OABAE21	古典古代学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	水1	秋山 学	964(康保元)年に勤学会を創始したことで知られる慶滋保胤(寂心:?-1002)の著書『日本往生極楽記』(986年以前に成立)をテキストにして、同時代・同趣旨の仏教文学関係の文献を読む。源信(942-1017)の『往生要集』や、『本朝文粹』などに載る保胤の活動・詩文、保胤の弟子・寂照(?-1034)の活動等にも視野を保っておきたい。	西暦偶数年度開講。 02DSA21と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE22	古典古代学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	水1	秋山 学	夏学期に続き、964(康保元)年に勤学会を創始したことで知られる慶滋保胤(寂心:?-1002)の著書『日本往生極楽記』(986年以前に成立)をテキストにして、同時代・同趣旨の仏教文学関係の文献を読む。源信(942-1017)の『往生要集』や、『本朝文粹』などに載る保胤の活動・詩文、保胤の弟子・寂照(?-1034)の活動等にも視野を保っておきたい。	西暦偶数年度開講。 02DSA22と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE23	古典古代学研究(2A)	2	1.0	1・2				最勝会、涅槃会、維摩会、法華会、大乘会など、「会」と呼ばれるものの次第について、文献に基づきつつ比較典礼学的に検討する。	西暦奇数年度開講。 02DSA23と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE24	古典古代学研究(2B)	2	1.0	1・2				最勝会、涅槃会、維摩会、法華会、大乘会など、「会」と呼ばれるものの次第について、文献に基づきつつ比較典礼学的に検討する(春学期の継続)。	西暦奇数年度開講。 02DSA24と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE25	古典古代学演習(1A)	2	1.0	1・2	春AB	金1	秋山 学	ギリシア語による歴史記述史をたどる。ヘロドトスとトゥキュディデスの重要箇所を中心に、古典ギリシア語の語法にも十分に注意を払いながら、古代における歴史記述の本質を考える。古典ギリシア語既習であることが望ましい。	西暦偶数年度開講。 02DSA25と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE26	古典古代学演習(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	金1	秋山 学	夏学期に続き、ギリシア語による歴史記述史をたどる。ヘロドトスとトゥキュディデスの重要箇所を中心に、古典ギリシア語の語法にも十分に注意を払いながら、古代における歴史記述の本質を考える。古典ギリシア語既習であることが望ましい。	西暦偶数年度開講。 02DSA26と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE27	古典古代学演習(2A)	2	1.0	1・2				Under the general theme of the "Psalms and Grace", we would like to do a philological reading of the selected Psalms in the frame of Online-OnDemand.	西暦奇数年度開講。 02DSA27と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE28	古典古代学演習(2B)	2	1.0	1・2				Under the general theme of the "Psalms and Grace", we would like to do a philological reading of the selected Psalms in the frame of Online-OnDemand.	西暦奇数年度開講。 02DSA28と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE34	日本中古文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	木2	吉森 佳奈子	注釈史のなかで、注釈書が『源氏物語』を離れて生きていった実態を、中世、近世に注目し、あきらかにすることをこころみる。あわせて、伝統的な文献学の方法が、通説のように『源氏物語』注釈書に無条件にあてはめ用いられるかについて問い、従来、価値のないものとして顧みられることの少なかった近世末期の転写本を生んだ状況を具体的に問う。	西暦偶数年度開講。 02DSA34と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAE35	日本中古文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木2	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史研究。文学史という視点で『源氏物語』注釈史を顧み、中古、中世および近世の教養の基盤について考察する知識、技術を得る。注釈史、享受史がとぎれることがなかったという点で『源氏物語』は、物語作品として特異な存在といえる。そのことに留意し、『源氏物語』を文学史のなかで捉えだすところをみる。その過程でとくに、『源氏物語』の諸本について、その注釈史と不可分の問題をもつことについて具体的に考察する。	西暦偶数年度開講。O2DSA35と同一。対面
OABAE36	日本中古文学研究(2A)	2	1.0	1・2				平安時代の散文作品をとりあげる。とくに注釈研究の基本を身につける。	西暦奇数年度開講。O2DSA36と同一。対面
OABAE37	日本中古文学研究(2B)	2	1.0	1・2				平安時代の散文作品をとりあげる。注釈研究の問題の立て方を学ぶ。	西暦奇数年度開講。O2DSA37と同一。対面
OABAE38	日本近代文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	木4	馬場 美佳	日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。	西暦偶数年度開講。O2DSA38と同一。対面
OABAE39	日本近代文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木4	馬場 美佳	日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。	西暦偶数年度開講。O2DSA39と同一。対面
OABAE41	日本近代文学研究(2A)	2	1.0	1・2				日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。	西暦奇数年度開講。O2DSA41と同一。対面 教室 人社A203
OABAE42	日本近代文学研究(2B)	2	1.0	1・2				日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。	西暦奇数年度開講。O2DSA42と同一。対面 オンライン(同時双方向型) 人社棟A520
OABAE47	英語圏文学文化研究(1A)	2	1.0	1・2				This course focuses on the field of global Anglophone literatures and cultures, analysing texts produced both at the centre and the peripheries of Britain's imperial enterprises. The primary aims are twofold: to familiarize students with a selection of writers and their works and to sharpen students' alertness to the historical, socio-political, and cultural contexts of a literary text. We will ask how these works illuminate the forces that have influenced, and continue to shape, the globalized yet unequal world today. Special attention will be paid to the plural histories, conceptions, relations, networks, and hierarchies of race and gender. In the first semester, the course aims to introduce students to a range of early twentieth-century texts and to develop their understanding of the influences and debates that shaped the concept of 'Anglophone'.	西暦偶数年度開講。O2DSA47と同一。英語で授業。2026年度開講せず。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAE48	英語圏文学文化研究 (1B)	2	1.0	1・2				This course focuses on the field of global Anglophone literatures and cultures, analysing texts produced both at the centre and the peripheries of Britain's imperial enterprises. The primary aims are twofold: to familiarize students with a selection of writers and their works and to sharpen students' alertness to the historical, socio-political, and cultural contexts of a literary text. We will ask how these works illuminate the forces that have influenced, and continue to shape, the globalized yet unequal world today. Special attention will be paid to the plural histories, conceptions, relations, networks, and hierarchies of race and gender. In the second semester, the course is designed to expose students to a range of late twentieth-century writers, moving between a detailed focus on highlighted key works and a wider perspective on the tension between local and global.	西暦偶数年度開講。O2DSA48と同一。英語で授業。2026年度開講せず。対面
OABAE49	英語圏文学文化研究 (2A)	2	1.0	1・2				This seminar focuses on the field of global Anglophone literatures and cultures, analysing texts produced both at the centre and the peripheries of Britain's imperial enterprises. The primary aims are twofold: to familiarize students with a selection of writers and their works and to sharpen students' alertness to the historical, socio-political, and cultural contexts of a literary text. We will ask how these works illuminate the forces that have influenced, and continue to shape, the globalized yet unequal world today. Special attention will be paid to the plural histories, conceptions, relations, networks, and hierarchies of race and gender.	西暦奇数年度開講。O2DSA49と同一。英語で授業。対面 教室 人社A203
OABAE51	英語圏文学文化研究 (2B)	2	1.0	1・2				This seminar focuses on the field of global Anglophone literatures and cultures, analysing texts produced both at the centre and the peripheries of Britain's imperial enterprises. The primary aims are twofold: to familiarize students with a selection of writers and their works and to sharpen students' alertness to the historical, socio-political, and cultural contexts of a literary text. We will ask how these works illuminate the forces that have influenced, and continue to shape, the globalized yet unequal world today. Special attention will be paid to the plural histories, conceptions, relations, networks, and hierarchies of race and gender.	西暦奇数年度開講。O2DSA51と同一。英語で授業。対面 教室 人社A203
OABAE52	フランス文学研究 (1A)	1	1.0	1・2	春AB	水3	小川 美登里	20世紀以降のフランス文学を思想的・文化的背景とともに考える。文学におけるジャンルの解体と再構築(ロマン、レシ、詩、エッセイなど)、あるいは哲学、絵画、音楽との交流を視野に入れながら、現代文学の特徴について考える。	西暦偶数年度開講。O2DSA52と同一。対面(オンライン併用型)
OABAE53	フランス文学研究 (1B)	1	1.0	1・2	秋AB	水3	小川 美登里	フランス文学のテキストを精読し、分析、解釈する技術を身につける。あつかう作品はおもに20世紀以降の現代小説。	西暦偶数年度開講。O2DSA53と同一。対面(オンライン併用型)
OABAE54	フランス文学研究 (2A)	2	1.0	1・2				20世紀以降、フランス文学は大きな発展をみた。地理的広がり(北アフリカやカリブ海など、フランス語圏文学の射程は大きく広がった)のみならず、複数の言語、複数の文化背景をもつ作家たちも排出された。その一方で、文学そのものの定義も広がった。言語、哲学、イメージ、音楽を自由に行き来するフィクションや批評も多く生み出された。本講義ではとくに音楽/言語/文化の関係に焦点を当てる。	西暦奇数年度開講。O2DSA54と同一。対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAE55	フランス文学研究 (2B)	2	1.0	1・2				20世紀以降、フランス文学は大きな発展をみた。本講義では言語表象やフィクションの意味を問い直しながら、小説作品を分析する。対象となるのは20世紀・21世紀を代表する小説作品であり、読解を通しながら具体的な分析方法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02DSA55と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAE61	Transnational Literature (1)	2	1.0	1・2	春AB	火4	ヘーゼルハウス、ヘラト	“Transnational Literary Studies” does not only comprise literature (and other media) that is produced across borders and in various languages (including translation), it also analyzes the common multi-lingual and multi-cultural basis inherent in aesthetic productivity. The focus point of this course is on text, author, genre, period, aesthetics, media, methods or translation, depending on the needs and interests of its participants and the research focus of the instructor.	西暦偶数年度開講。 02DSA61と同一。 英語で授業。
OABAE62	Applied Humanities (1)	2	1.0	1・2	秋AB	火4	ヘーゼルハウス、ヘラト	The study of “Applied Humanities” focuses on the interface between traditional literary studies and society. In this course the focus will be on humanities’ contribution to society and on career strategies. Students will have the opportunity to discuss their own approaches and design their own academic profiles. The course will also include analysis and discussion of literary and theoretical texts in an “Applied Humanities” perspective and introduce the relevant methodology.	西暦偶数年度開講。 02DSA62と同一。 英語で授業。 対面
OABAE63	Transnational Literature (2)	2	1.0	1・2				This course focuses on “Relational Studies in Literature” and analyzes and discusses how texts connect in literature, culture and politics in an international framework. The course will be based on the analysis and interpretation of interconnected primary literary texts proposed by the instructor or participants. It will also introduce and discuss various conceptualizations of “intertextuality”, “relationality”, “multilingualism” and translation”.	西暦奇数年度開講。 02DSA63と同一。 英語で授業。 対面
OABAE64	Applied Humanities (2)	2	1.0	1・2				The study of “Applied Humanities” answers to social and intellectual needs of society and is especially dedicated to the understanding and solution-finding processes of global and local crises. The course will focus on topical material (especially literary publications) concerning long-term crises or acute disaster. Students will have the opportunity to do original literary research connected to the course’s main topic.	西暦奇数年度開講。 02DSA64と同一。 英語で授業。 対面
OABAE65	中国文学研究 (1A)	2	1.0	1・2	春AB	木5	稀代 麻也子	論理的な思考力を鍛えて知の活用力ををつけるために、120巻本『文選』の精読を通してその特徴を把握することが当該授業の到達目標である。具体的には、巻43所収の詩・巻56所収の挽歌・巻63所収の騷・巻71所収の教・巻79所収の彈事・巻91所収の序・巻113所収の誄・巻47所収の詩・巻61所収の雜擬を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦偶数年度開講。 02DSA65と同一。 対面
OABAE66	中国文学研究 (1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木5	稀代 麻也子	論理的な思考力を鍛えて知の活用力ををつけるために、鈔本で『文選』を読み、諸本の注釈と比較検討をすることが当該授業の到達目標である。具体的には、巻47所収の詩・巻56所収の雜歌詩・巻66所収の騷・巻71所収の策秀才文・巻85所収の書・巻93所収の頌・巻116所収の碑・巻48所収の詩・巻68所収の七を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦偶数年度開講。 02DSA66と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OABAE67	中国文学研究(2A)	2	1.0	1・2				論理的な思考力を鍛えて知の活用力を付けるために、集注本で『文選』を読み、各注の特徴を確認することが当該授業の到達目標である。具体的には、巻48所収の詩・巻59所収の雑詩・巻68所収の七・巻73所収の表・巻88所収の檄・巻94所収の賛・巻56所収の楽府・巻66所収の騷・巻98所収の史論を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦奇数年度開講。 O2DSA67と同一。 対面
OABAE68	中国文学研究(2B)	2	1.0	1・2				論理的な思考力を鍛えて知の活用力を付けるために、『唐鈔文選集注彙存』を読み、補注をつけることが当該授業の到達目標である。具体的には、巻56所収の楽府・巻61所収の雜擬・巻71所収の令・巻79所収の雜事・巻88所収の難・巻98所収の史論・巻59所収の雑詩・巻85所収の書・巻91所収の序を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦奇数年度開講。 O2DSA68と同一。 対面
OABAE69	日本上代文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	金5	茂野 智大	『萬葉集』について、本文校訂や訓詁といった基礎作業から始めて、客観的根拠に基づく精緻な注釈を作成することを目指す。上代の文学作品は全て漢字で表記されているため、それをどう「よむ」かが、まずは問題となる。したがって、諸本を校合し、字義と語義との関係を見極めて本文と訓とを定め、その上で関連事項も視野に入れた注釈や解釈を施すことになる。授業は各自の発表に基づいて全体での討議を行う形で進めていく。	西暦偶数年度開講。 対面
OABAE70	日本上代文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	金5	茂野 智大	『萬葉集』について、その享受史も視野に入れた、客観的根拠に基づく精緻な注釈を作成することを目指す。『萬葉集』諸本の訓や、後代のかな書き歌集収載の萬葉歌には、一見荒唐無稽とも思える訓が屢々見られる。だが、なぜ当時そう訓まれたのかを考えることで、翻って『萬葉集』そのもの考える視座とし、より巨視的な観点で注釈や解釈を施すことを試みる。授業は各自の発表に基づいて全体での討議を行う形で進めていく。	西暦偶数年度開講。 対面
OABAE71	日本上代文学研究(2A)	2	1.0	1・2				『萬葉集』について、本文校訂や訓詁といった基礎作業から始めて、客観的根拠に基づく精緻な注釈を作成することを目指す。上代の文学作品は全て漢字で表記されているため、それをどう「よむ」かが、まずは問題となる。したがって、諸本を校合し、字義と語義との関係を見極めて本文と訓とを定め、その上で関連事項も視野に入れた注釈や解釈を施すことになる。授業は各自の発表に基づいて全体での討議を行う形で進めていく。	西暦奇数年度開講。 対面
OABAE72	日本上代文学研究(2B)	2	1.0	1・2				『萬葉集』について、その享受史も視野に入れた、客観的根拠に基づく精緻な注釈を作成することを目指す。『萬葉集』諸本の訓や、後代のかな書き歌集収載の萬葉歌には、一見荒唐無稽とも思える訓が屢々見られる。だが、なぜ当時そう訓まれたのかを考えることで、翻って『萬葉集』そのもの考える視座とし、より巨視的な観点で注釈や解釈を施すことを試みる。授業は各自の発表に基づいて全体での討議を行う形で進めていく。	西暦奇数年度開講。 対面
OABAE73	デジタル人文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	応談	三原 鉄也	人文学における情報学・情報処理技術を活用する研究手法についての習得を目指す。授業は演習形式で行い、デジタル人文学の代表的な研究手法や最新の研究における手法適用について各自発表・討議を行う。マンガ・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーに関する研究を主な対象としつつも、他の人文学諸分野の動向についても適宜幅広く取扱い、多様な課題に対するデジタル人文学の手法適用スキルを養う。	西暦偶数年度開講。 対面
OABAE74	デジタル人文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	応談	三原 鉄也	人文学における情報学・情報処理技術を活用する研究手法についての習得を目指す。授業は演習形式で行い、デジタル人文学の代表的な研究手法や最新の研究における手法適用について各自発表・討議を行う。マンガ・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーに関する研究を主な対象としつつも、他の人文学諸分野の動向についても適宜幅広く取扱い、多様な課題に対するデジタル人文学の手法適用スキルを養う。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAE75	デジタル人文学研究(2A)	2	1.0	1・2				人文学における情報学・情報処理技術を活用する研究手法についての習得を目指す。授業は演習形式で行い、デジタル人文学の代表的な研究手法や最新の研究における手法適用について各自発表・討議を行う。マンガ・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーに関する研究を主な対象としつつも、他の人文学諸分野の動向についても適宜幅広く取扱い、多様な課題に対するデジタル人文学の手法適用スキルを養う。	西暦奇数年度開講。 対面
OABAE76	デジタル人文学研究(2B)	2	1.0	1・2				人文学における情報学・情報処理技術を活用する研究手法についての習得を目指す。授業は演習形式で行い、デジタル人文学の代表的な研究手法や最新の研究における手法適用について各自発表・討議を行う。マンガ・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーに関する研究を主な対象としつつも、他の人文学諸分野の動向についても適宜幅広く取扱い、多様な課題に対するデジタル人文学の手法適用スキルを養う。	西暦奇数年度開講。 対面
OABAE91	文学研究演習A	2	2.0	2	春ABC	随時	馬場 美佳, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森佳奈子, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 吉原 ゆかり, 茂野 智大, 三原 鉄也, 五月女 颯, ツアイ ツオンハン	文学サブプログラムにおいて修士論文を作成する2年次生が、自己の所属するサブプログラム・専門領域のみならず、他の専門領域の教員も加わって随時に研究に関する議論を行いながら、資料の収集およびその具体的な考察の方法を検討しつつ、修士論文の構想を深めていく。	対面 オンライン(同時双方向型)
OABAE92	文学研究演習B	2	2.0	2	秋ABC	随時	馬場 美佳, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 茂野 智大, 三原 鉄也, 五月女 颯	文学サブプログラムにおいて修士論文を作成する2年次生が、自己の所属するサブプログラム・専門領域のみならず、他の専門領域の教員も加わって随時に研究に関する議論を行いながら、論文の構成および具体的な執筆方法を検討し、最終的な修士論文の完成を目指す。	対面 オンライン(同時双方向型)
OABAE97	海外研究実習	3	1.0	1・2	通年	応談	加藤 百合	文学に関する修士論文を執筆する過程において、その研究成果をもって海外における学会発表などを行うことで、研究における国際的視野を獲得することを目的とする。	履修にあたっては、事前に指導教員と相談のうえ、研究計画書(書式任意)を提出すること。 G科目 対面 オンライン(同時双方向型)